

令和7年度 郡山第一中学校だより

いまから ここから

令和7年7月18日 第4号

郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や目標に向かって「あきらめない」との強い思いをもち、今できることに一生懸命に取り組み、十五の春に美しい花を咲かせてほしいと思っています。でも、くじけそうになったとき、あきらめそうになったとき、「いまから、ここから」と、新たな気持ちで、新たな目標をつくって始めれば、そんな願いを込めてこの題にしました。 文責 校長 新田泰尋

1学期みんなよくがんばりました。

保護者の皆様のご支援・ご声援、ありがとうございました！

1学期、みなさん本当によく頑張りました。普段の授業はもちろんですが、部活動、委員会活動、学級での係活動。特に4月は、中学3年生の修学旅行。学校では味わえないたくさんのお話を学んできました。5月、6月は、中体連陸上大会、市・県中地区総合体育大会、そして県中地区水泳大会、7月は県陸上競技大会、県柔道大会に出場し全力で戦いました。県陸上競技大会では、女子走高跳と女子四種競技が東北大会出場を決めました。また吹奏楽部は7/11(金)の吹奏楽コンクール県南支部大会で金賞を獲得し、福島県吹奏楽コンクールに出場することとなりました。

19日からの福島県総合体育大会には、新体操個人1名、卓球部女子個人1名、ハンドボール部男女、男子バレー部、サッカー部、バドミントン部男女、水泳部男女が出場します。県大会で全国大会出場が決まる競技もあります。ぜひ、郡山一中の名声を福島県はもとより東北や全国に轟かせてほしいと思います。これからも保護者の皆様の変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

「一中1割」のプライドをもった、「かっこいい」一中生であれ！

「一中1割」

これは、いつも私が全校集会などで生徒の皆さんにお話している言葉です。

「郡山市の中学生の約1割が郡山一中生。郡山市にいる多くの郡山一中の先輩方はこの伝統を受け継ぎ、素晴らしい歴史と文化を創り上げてきた。『一中一割』の皆さんが、何事にも正面から向き合っ、最後まであきらめずにこの学校でやってきたことに自信と誇りをもって卒業し、郡山市にいる多くの郡山一中の卒業生とネットワークを組んで、郡山をリードしてほしい。」

このような願いを込めて、私はいつもこの言葉で全校生徒を励ましています。

特に、令和7年度の第1学期始業式や全校集会では、次のような言葉を言っています。

「一中1割」のプライドをもって、ぜひ「かっこいい」一中生になってほしい。

「かっこいい」とは、ただ外見の格好がいいということではない。誰に対しても、さわやかな笑顔で、あいさつ、返事ができ、時間を守る人。このようなかっこいい人は、ルールやマナーも守り、何でも率先してやる。また、品格があり、しかも人に対する思いやりがある。

みなさんにはそんな、「一中1割」のプライドをもった、かっこいい一中生となってほしい。

1学期を振り返り、各部活動や各委員会、そして各学級それぞれの立場で、一中生の「かっこよさ」が少しずつ花開いています。それを特に感じたのは、2つあります。

1つ目は、壮行会において、応援団の応援をリードに大きな声で選手を応援する姿に私は感動しました。応援団の皆さんも、昼休み返上で応援し、立派な演舞を披露してくれたのはいうまでもありません。

2つ目は、中体連大会等に出発する際、各部活動が玄関前で出発式を行います。どの部活動でも大きな声のあいさつで始まり、大会に向けて立派に決意表明をしてくださいました。また、帰ってきた際には職員室で結果報告を行ってくださいました。勝っても、負けても、すがすがしい顔、大きな声で結果を報告してくださいました。本当に頼もしく思いました。

明日から24日にかけて、県内の各会場で県大会がはじまります。出場する選手の皆さんは、ぜひ上位大会の東北・全国大会を目指し、最高のコンディションで悔いの残らない試合をし、素晴らしい思い出をつくってほしいと思います。選手の皆さんの健闘を祈っています！